

北野下水処理場・清掃工場跡地活用基本構想（素案）パブリックコメントでいただいたご意見一覧

1.目指すビジョンと空間構成の考え方へのご意見

番号	いただいたご意見	市の考え方						
1-1	中心市街地とその周辺に緑が少ない。緑が多い環境にしてほしい。	本構想の「目指すビジョンと空間構成の考え方」では、「オープンスペースや、みどりの資産を活かして人が滞留できる場を提供している」と示しております。浅川に面し、水辺とみどりに恵まれた環境は、本地区の活かしたい強みであると認識しておりますので、この強みを効果的に活かした土地利用を図ってまいります。						
1-2	周辺について、大和田橋から八高線の踏切までの空間が、道路が狭いうえで車や歩行者が混在していて、使いにくい。国道16号バイパス南側にある多目的広場の使い方もよくわからない。対象地だけでなく、河川空間含め、トータルで考えてほしい。	土地活用を検討するうえで、対象地までのアクセスのしやすさなど周辺との関係性は重要なポイントと認識しております。また、ご意見のとおり、浅川に面する本地区の強みを活かし、河川空間との一体的な土地利用など魅力的な都市空間を創出する手法について今後、検討を深めてまいります。						
1-3	行き止まりにもかかわらず、北野公園通りからあったかホール出入口方面に間違えて進入する車が多い。開発により交通量が増えるなら、事故等の恐れがあるため、対処してほしい。	ご指摘の点については、担当部署と共有いたしました。将来の土地利用にあたっては、利用者にとって分かりやすい動線計画となるよう配慮いたします。						
1-4	件名資料14ページにある「目指すビジョンと空間構成の考え方」のテーマ：自分らしさを表現できる場に記載されている「目指すビジョン」の内容について、とても共感しております。昨年開催された「メタバース時代のまちづくりワークショップ」にも現地参加させていただきました。おそらく当該施設内は一般車両の往来がある程度規制されることになると考えておりますが、是非、この施設内は一部の特定利用者を柵で隔離するような設置設定では無い、本来の意味での都市空間を形成していただき、アーバンスポーツ・音楽・創作・芸術などの文化活動に、人々が気軽にのびのびと取り組める場所にしていきたいと思います。安全面への配慮やゾーニングなど、是非協力させていただきたいと考えておりますので、よろしくお願いたします。	ご共感ありがとうございます。安全面に配慮しながら、様々な人が多様な過ごし方ができる場を提供できるように、引き続き検討を進めてまいりますので、今後もご協力いただけますようよろしくお願いいたします。						
1-5	「子ども・大人・高齢者・障害者の全てにおいてつながりのあるコミュニティの提案」 現在の子供達は、核家族が大多数を占めており、高齢者と接する機会が少なくなってきています。高齢者を前にするとコミュニケーション方法が分からず戸惑ってしまい、それがSNSやゲームに流れる理由の一つかもしれません。 高齢者はコロナ感染症の影響もあり、コミュニケーションの機会も減り、活力減退傾向にあります。高齢者のデイサービス施設は充実した生活の一部となっていますが、世代を超えた交流があれば、より良い活力となるのではないかと考えます。 また、大人については、障害者と接する機会を得ないまま成人を迎えた人の方が多いのではないのでしょうか。そのため不意に障害者に対面すると目を背けてしまったり、敬遠されてしまいます。障害者を持つ側としては、様々な人と関わりたいと思っても、相手が接し方が分からないために避けられてしまいます。現在の体制では、障害者が社会に馴染むにはまだ難しい状況です。 そこで「全てにおいてつながりのあるコミュニティ」を提案したいと考えます。様々な世代や障害を越えてつながることで、お互いを高め合い助け合い、北野から八王子全体が癒されて元気になる。そんなコミュニティを作りたいと考えます。北野地区は水害の恐れがあるため、下水処理場跡地という特徴を生かして、防水槽を設置し、だれでも食堂、勉強スペース、放課後デイ、高齢者施設・障害者施設を併設する。人が集まる仕掛けとして、道の駅、カフェ、ご当地パン・ケーキ・乳製品店、ドッグラン、動物開放スペース、屋上菜園なども設置し収穫体験も行えるようにする。車椅子でも移動可能なバリアフリーとし、スロープも設置する。障害者トイレ、オストメイト、赤ちゃんフラットの完備。そんな夢が実現した際には、モデルケースとして八王子から社会全体に発信したいと考えています。 上記の「子ども、大人、高齢者、障害者」という表現はカテゴリーとして使用しており、差別を意図とするものではありませんご了承ください。	本構想の「目指すビジョンと空間構成の考え方」では、「用途が混在し、多様な過ごし方ができる場を提供している」と示しております。世代を超えて交流できる「場づくり」や、お互いを支え合い、高め合う「人づくり」は重要な視点であると認識している一方で、一人の時間を大切にしたい方にも憩える場を提供していきたいと考えております。ご意見を参考にしながら、この場所で活動したい方が自らまちづくりに関われる仕組みを構築するなど、多様な方々に使ってもらえる公共空間づくりに努めてまいります。						
1-6	P14目指すビジョンと空間構成の考え方のうち、テーマ「環境の再生」について、本文内容に賛同するとともに、下記のとおり下線部分の追記を提案致します。 <table border="1" data-bbox="231 1691 906 1803"> <thead> <tr> <th>テーマ</th> <th>本文</th> <th>賛同及び追記提案</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>環境の再生</td> <td>再生可能エネルギーやパッシブデザインを導入している</td> <td>再生可能エネルギーやパッシブデザイン・アクティブデザインを導入している</td> </tr> </tbody> </table>	テーマ	本文	賛同及び追記提案	環境の再生	再生可能エネルギーやパッシブデザインを導入している	再生可能エネルギーやパッシブデザイン・アクティブデザインを導入している	ご賛同ありがとうございます。2050年の脱炭素社会の実現に向けて、引き続き検討を進めてまいります。ご提案の「アクティブデザイン」については、具体例として再生可能エネルギーを利用した設備が重要と認識しており、これについては本構想で明記していることから、参考とさせていただきます。
テーマ	本文	賛同及び追記提案						
環境の再生	再生可能エネルギーやパッシブデザインを導入している	再生可能エネルギーやパッシブデザイン・アクティブデザインを導入している						

番号	いただいたご意見		市の考え方
1-7	P14目指すビジョンと空間構成の考え方のうち、テーマ「都市のレジリエンス」について、本文内容に賛同するとともに、下記のとおり下線部分の追記を提案致します。		ご賛同ありがとうございます。本地区が防災に対する学びとともに、災害時の活動支援に貢献する地域となるよう、引き続き検討を進めてまいります。 ご提案の「再生可能エネルギーや自立・分散型電源」の趣旨は、「エネルギーの地産地消とネットワーク化」に包含しているものと認識しております。
	テーマ	本文	
	都市のレジリエンス	エネルギーの地産地消とネットワーク化により、災害時にも事業継続可能な地域を形成している。	<u>再生可能エネルギーや自立・分散型電源によるエネルギーの地産地消とネットワーク化により、災害時にも事業継続可能な地域を形成している。</u>

2.地区を取り巻く環境へのご意見

番号	いただいたご意見		市の考え方	
2-1	P10地域特性の整理について、本文内容に賛同するとともに、下記のとおり下線部分の追記を提案致します。		ご賛同ありがとうございます。ご指摘の箇所は、外部要因として考慮すべき事項を記載しており、停電も、起こりうるリスクの1つと認識しております。ご意見は参考とさせていただきます。	
		本文		賛同及び追記提案
	インフラ	電気・ガスなどのインフラが充実している		本文に賛同いたします
	防災	災害時の活動を支える公共施設がある		本文に賛同いたします
	災害	災害が激化している	<u>災害が激化してける、停電のリスクが高まっている</u>	

3.実現化に向けた取組へのご意見

番号	いただいたご意見		市の考え方
3-1	北野地区は民間活用してほしい。		本構想の「実現化に向けた取組」では、「民間主体のまちづくりを推進する」と示しております。
3-2	素案の12頁の「公共施設等総合管理計画 平成29年3月」の項に、「新たな行政需要に対しては、既存施設の複合化等を検討し、原則新たな施設整備は行いません。」と書かれています。29頁の「3 機能移転・統合によりサービスを充実」の項に「既存施設の有効利用や借上等による対応を検討することで、新たな施設は原則として整備しない。ただし、本市の経営戦略上、重要な施設を新たに整備する場合を除く。」と書かれています。北野下水処理場・清掃工場跡地活用は「本市の経営戦略上、重要な施設を新たに整備する場合」に該当し、新たな施設を整備することが出来ると思えます。すくなくとも、北街区については、市の多数の施設が存在するので、市や市民の考えに基づいて、新たな施設整備を進めてもらいたいと思います。		市では少子高齢化に伴う市税収入の減少と医療福祉に係る民生費の増加により、施設整備や維持管理にかかる財源が一層厳しさを増すと予測しております。これらのことから、本構想では、当該地における公共空間の整備にあたっては民間活力を導入し、そこで得られる収入を公共空間に還元するなど経営意識をもって土地利用を検討したいと考えております。
3-3	素案の17頁の「公共施設の再編を進める」の項には、清掃工場について、「焼却施設は廃止します。不要施設の撤去は、民間による施設整備との一体的な実施を検討します」と書かれています。これでは、焼却施設は長ければ5年間、放置される恐れがあります。焼却施設は老朽化が進んでいるため、八王子市が早急に撤去した方がよいと思います。地震等の災害で煙突や建物が破壊され、事故に繋がる恐れがあると思います。		本構想の「実現化に向けた取組」では、「経済性及び即時性を高める方法」を整理・検討すると示しております。施設撤去は、新たな施設整備と一体的に実施の方が費用及びスケジュール面において合理的であると考えております。今後、民間事業者へのサウンディング調査等を踏まえ、最適な撤去方法を検討してまいります。 ご懸念の点につきましては、施設撤去まで清掃工場の建築物を定期的に点検するなど、放置とならないよう維持管理してまいります。

番号	いただいたご意見	市の考え方
3-4	基本構想の根本にあるのは、市財政負担の抑制と民間活力の導入、民間資金の活用と受け取れる内容です。構想では民間主導で跡地の活用を行い、公共施設については民間から賃借するという表現になっていますが、PFI方式の跡地利用になるのでしょうか？もしそのような跡地利用方法を考えているのであれば、止めていただきたい。PFIはいろいろな自治体で導入していますが、長期の契約になり、自治体が投入する資金は膨大になっているところもあります。少なくとも、PFIでこのような跡地利用を行っている自治体の例を成功例も失敗例も明らかにして検討すべきだと思います。そのような例が見当たらないのであれば、すべての情報を市民に明らかに、十分慎重に検討されることを望みます。	本構想の「実現化に向けた取組」では、「民間主体のまちづくりを誘導する」と示しております。 いただいたご意見を参考に、財政負担を抑制しながら、質の高い公共空間を整備・運営する方法について、今後、民間事業者へのサウンディング調査を実施するなどして検討してまいります。

4.導入施設等へのご意見

番号	いただいたご意見	市の考え方
4-1	ドッグランを、運営して欲しいです。八王子には、七国にしかありませんので、不便です。	
4-2	北野清掃工場跡地の使い方についてです。ドッグラン付きの公園を希望します。 近くに多くの住宅街があり、子供も多いことから公園を希望します。 また、ドッグランは近くには一切なく、七国のドッグランが1番近いです。 公園付きのドッグランが出来ることにより、犬を飼っている人や、犬を見に散歩に来る高齢の方の交流促進になるのではないかと考えています。 16号も近いこともあり、愛犬家の車での来訪も期待されます。	
4-3	バスケットコート（ゴール） 調べたら八王子で自由に利用できるバスケットコート（ゴール）は少ない。めじろ台、山田、高尾…あたりの公園にあるのだが偏りがあると思う。設備にさほど費用もかからないと思うし、スラムダンク人気もあるし、子供達や若者、その他いろいろな年代の方々が利用できると良いと思う。 芝生広場 日野市にある北川原公園に習い、屋根付きのドームやベンチ（災害時にはかまどになる）など、災害時にも活躍するような設備を備えた芝生広場。因みに北川原公園にはバスケットコートもあります。 ドッグラン 八王子市には七国に一つしかないドッグラン。八王子市駅周辺在住で車の無い方でもお散歩がてら出向いて来れると思う。また設置に際してさほど費用もかからないと思う。使用ルールは七国でのルールに準じれば良いのでは。 交通公園 八王子市には2つあるが、どちらも八王子の西側と偏りがある。決して便利な場所でもない。北野に作ることで、八王子市の東側（特に南大沢方面の方など）の方々は非常に便利に利用できると思う。交通公園、我が子も何度かお世話になりましたが、非常にニーズは高いと感じています。（それこそ八王子駅周辺在住で車の無い方々などにも） 避難場所を兼ねた高さのある建物 数年前に浅川が氾濫したことがありました。幸い、この辺りは被害はありませんでしたが、避難場所は第四小学校と言われました。我が家は犬がいるため四小に避難することは控えました。動物連れでもOKの避難場所があったらよいと思います。 駐車場 上記の内容からやはり駐車場の設置は必須と思います。 民間企業の研究所について 先日行われた説明会に伺えなかったので、一度、市役所にお電話させていただきました。その際に、八王子市としては工業地帯であることを考慮して、民間企業の研究所を作りたいと伺いました。近所に住む者としては、とても良い案だと思いました。たくさんの方がこの地域に通勤して下さることは、個人的には大歓迎です。あったかホールもいろいろな設備がクローズしてしまい、とても閑散としている現状です。ぜひ、あったかホール内の充実、リニューアルを期待しています。 地域と調和した活気あるコミュニティになりますように！	市では少子高齢化に伴う市税収入の減少と医療福祉に係る民生費の増加により、公共施設の整備や維持管理にかかる財源が一層厳しさを増すと予測しております。 これらのことから、本構想では、当該地における公共空間の整備にあたっては民間活力を導入し、そこで得られる収入を公共空間に還元するなど経営意識をもって土地利用を検討したいと考えております。 公共空間のイメージについては、令和5年度に市民ワークショップを開催し、幅広くご意見を聞くとともに、民間事業者へのサウンディング調査を実施することで、官民が調和する導入機能と事業スキームなどの条件を検討してまいります。 いただいたご意見は、今後の検討の参考にさせていただきます。
4-4	敷地内のプールや(残念ながら閉鎖した)風呂の利用や、浅川に接続する緑道の散歩で訪れる人は多く、健康維持や地域のコミュニティ活性化の場としての需要は強いです。高齢者のための体操器具や、子供の遊具が設置されれば継続的な利用が期待できます。広い敷地を生かし、自転車の練習や、サッカーやバスケットなども行えるようにすれば、利用者の拡大が望めます。	
4-5	献血ルームを作ってほしい	

番号	いただいたご意見	市の考え方
4-6	<p>跡地活用案として、交通公園や、スポーツ公園（市民体育館、環境学習できる展示施設、地産地消マルシェなど含む）を提案します。</p> <p>【交通公園】</p> <p>まず現状、京王八王子駅や八王子駅から徒歩で通える場所に「交通公園」（自転車やストライダー、一輪車の練習場所など）がありません。駅周辺にマンションが増えているので、練習をしたい子育て世帯のニーズがあるのではないかと考えました。</p> <p>また、交通公園なら比較的既存の線を残しやすく、民間施設とは競合しにくいと思います。さらに施設整備費や維持・人件費などは低く抑えられるのではと思いました。</p> <p>【スポーツ公園（市民体育館、環境学習できる展示施設や地産地消マルシェ含む）】</p> <p>北野下水処理場・清掃工場跡地は、北野環境学習センター（あったかホール）や、北野広場（少年野球場としても利用されているグラウンド）が隣接している地域にあたります。近年、浅川沿いが綺麗に整備され、老若男女問わずジョギングやサイクリングを楽しむ人の姿も以前にも増して見られるようになったと感じています。</p> <p>既存施設を活かし、八王子市の「既存施設の複合化」を考えるなら、市民の健康促進も狙い、このあたりにも複数の用途で利用できる「屋外スポーツ公園」や隣接した「市民体育館（屋内）」があっても良いのではないかと考えました。</p> <p>昨今、公園はあっても「ボールを使えない」ところがほとんどなので、窮屈に感じています。特に堅めのボールNGのところはとて多いのが現状です。「親子でサッカーボールをちょっと蹴る」こともできず、「バスケットボールやサッカーのパスや軽いシュート練習を道端でしている子ども達の姿」を見かけることもあります。チームに所属していたらコートなどを使って練習できるのかもしれませんが、ふらっと友達や親子（あるいは一人で）立ち寄り、汗を流せる場所があったらもったいひのになと常々思っています。屋内外に関わらず、そんなエリアがある公園（または市民体育館のような施設）があれば願います。（そうはいつでも実際には予約貸出が基本になるかもしれませんが、）一部のエリアだけでも予約不要で譲り合いで使える場所を作っていただくと嬉しいです。</p> <p>予算にも寄りますが、スポーツ公園内に「市民体育館」を新設するのもありかと思えます。北野環境学習センターの多目的ホールはそこそこの広さがありますが1つだけですし、個数に加えて、違う用途で使える施設になれば競合しないのではないのでしょうか。既に八王子駅と西八王子駅の間にある富士森体育館の利用状況なども考慮して、需要があり増設が望ましいものを検討してみるのはいかがでしょうか。</p> <p>八王子市は大学が数多くある街なので、市民が使いやすいスポーツ施設は、学生団体にも需要があるのではないかと考えます。（個人的な感覚ですが、大学運営で学生に少し関わっていた経験から、広めの畳部屋（柔道や踊り、着付け、競技かるたなど）や複数枚の大きな鏡やガラス（反射して自分が映る）に囲まれた空間（ヒップホップダンスなどを全身見ながら練習出来る場所）は料金面以外でもなかなか見当たらないので、有難いのではないかと考えます。</p> <p>また、バイパスを挟んで川の向こう側にはエコタウンなど民間の大型リサイクルショップがあるなど、八王子市は使う側も売る側も、リサイクルを活用したり、エコ意識が比較的高い街ではないかと感じています。隣接することになる「北野環境学習センター（あったかホール）」と連携し、今まで下水処理場や清掃工場が担っていた役割や、今後どのように変わっていくかが分かる展示コーナーを設けたり、再生可能エネルギーの学習をしたりや実感できる場所が体育館内などにあれば、体育館来館者にも八王子市の取り組みのアピールが出来ますし、北野環境学習センターの告知が出来ます。相互に良いのではないかと考えました。</p> <p>「地産地消マルシェ」は1つの案です。地域の民間企業と競合しにくい八王子市特産品の直売コーナーなどを体育館などの施設に少し設けることで、スポーツ目的以外の利用者も増やし、施設を知ってもらったり、今後の公園等の施設利用につなげるのではないかと考えました。新たな客層を集客することもできそうです。北街区は特に接道条件があまりよくないので、大量集客をする施設には向かないかもしれませんが、健康志向の方が継続的に施設利用してくれるきっかけになったらいいなとも思います。</p>	<p>市では少子高齢化に伴う市税収入の減少と医療福祉に係る民生費の増加により、公共施設の整備や維持管理にかかる財源が一層厳しさを増すと予測しております。</p> <p>これらのことから、本構想では、当該地における公共空間の整備にあたっては民間活力を導入し、そこで得られる収入を公共空間に還元するなど経営意識をもって土地利用を検討したいと考えております。</p> <p>公共空間のイメージについては、令和5年度に市民ワークショップを開催し、幅広くご意見を聞くとともに、民間事業者へのサウンディング調査を実施することで、官民が調和する導入機能と事業スキームなどの条件を検討してまいります。</p> <p>いただいたご意見は、今後の検討の参考にさせていただきます。</p>
4-7	<p>今回の北街区に存在する「あったかホール」は主に入浴施設、温水プールおよび多目的ホールなどがあり多くの市民が利用している。とくに入浴施設は高齢者にとって入浴のみならず憩いの場や情報交換の場として長年にわたり定着してきた。しかし、このたびの北野清掃工場の廃止に伴い入浴施設も廃止となった。一方、入浴施設は高齢者福祉事業の一環として今後とも必要とされるものである。今回の跡地活用計画のなかに浴室と談話室を含めた入浴施設を要望します。</p>	
4-8	<p>跡地の有効利用について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅から近い、浅川に近い、自然があるという利点をいかして、市民誰もが利用できる複合福祉センターの建設を希望します。現地より近い肢体不自由の生徒たちが通う都立八王子東特別支援学校の生徒たちの卒業後の進路先が八王子市内で非常に少ないです。特に医療ケアの生徒たちの進路先はほとんどありません。学校から近いという利便性があり、重度の障害児の進路保障のため市民センター的機能、図書館的機能、みんなが集える場所を作れば障害者理解も進みみんなが歩ける中核市として機能できます。 ・SDGsのため太陽光発電にしてあったかホールも太陽光発電とし、プールは絶対存続させてください。土日は家族でにぎわい、子どもたちの健全な放課後や祝日の居場所となっています。よろしくお願ひします。 	
4-9	<p>これだけの敷地があり、北野駅にも近く便利なところで環境もよいので、一部民間に貸出し民間の利益に供するより、広く福祉に使用されることを望みます。障害児施設、あるいは教育関係の学童施設など広く市民の福祉に供されることを要望します。</p>	

番号	いただいたご意見	市の考え方
4-10	<p>北街区の入り口付近に八王子市農業公園を早急に開設することをご提案致します。</p> <p>農業公園は、一般的には、市民が農業と緑について学び、触れ、親しみ、相互に交流する場であり、市の農業振興及び緑化推進に役立つものです。さらに、現在、八王子市で推進している、農福連携、有休農地活用、子供の農業教育等の促進になると思います。東京都では、世田谷区、足立区、杉並区、練馬区、武蔵野市、三鷹市、府中市等で設置されています。具体的には、及びを早急に整備して頂くことをご提案致します。</p> <p>北街区の環境学習センター西側用地に八王子市農業公園を整備する。(現在、駐車場、広場、衛生事業所として使用されている部分)</p> <p>大部分は平地の農場として使用。農業公園用の小規模作業建屋が必要です。</p> <p>清掃工場を解体し、跡地を駐車場とする。</p> <p>駐車場は、環境学習センターと農業公園の共用とする。</p>	<p>市では少子高齢化に伴う市税収入の減少と医療福祉に係る民生費の増加により、公共施設の整備や維持管理にかかる財源が一層厳しさを増すと予測しております。</p> <p>これらのことから、本構想では、当該地における公共空間の整備にあたっては民間活力を導入し、そこで得られる収入を公共空間に還元するなど経営意識をもって土地利用を検討したいと考えております。</p> <p>公共空間のイメージについては、令和5年度に市民ワークショップを開催し、幅広くご意見を聞くとともに、民間事業者へのサウンディング調査を実施することで、官民が調和する導入機能と事業スキームなどの条件を検討してまいります。</p> <p>いただいたご意見は、今後の検討の参考にさせていただきます。</p>
4-11	<p>敷地の広さを活用し、市民のスポーツ施設需要にも応える施設をつくっていただきたい。そのために、あったかホールのプールを残し、環境教育センターとしての機能を整えていく中で、再生可能エネルギーの活用モデルとして、再生エネルギーを利用した温水プールを残してほしい。</p> <p>また、環境教育センターとしての機能と同時に、駅からのアクセスも比較的良好いので、障がい者福祉センター的な機能も持たせてほしい。</p>	
4-12	<p>野鳥などの自然が豊かですので、環境整備を実施することで、魅力的な公園となります。犬の散歩で利用する人向けにドッグランを設置し、浅川沿いをサイクリングする人向けに駐輪所やベンチなど休憩所を設置することで、訪問者の増加が期待できます。自然と共存する都市開発の実践と研究の場としても活用されるべきです。</p>	<p>本構想の「目指すビジョンと空間構成の考え方」では、「オープンスペースや、みどりの資産を活かして人が滞留できる場を提供している」と示しております。</p> <p>浅川に面し、水辺のみどりに恵まれた環境は、本地区の活かしたい強みであると認識しておりますので、ご意見を参考に、浅川ゆったりロードの魅力強化する機能の導入とともに、都市開発の実験の場としての活用も検討してまいります。</p>
4-13	<p>旧あったかホールの風呂はすでに閉鎖され、水槽など別用途での利用が想定されているようですが、いまま敷地内の小川やため池で、子供たちが遊んだり、野鳥が訪れる様子は見られます。これらの緑道周辺の再整備をすることで、より自然を実感できる施設になると思われます。風呂もそれ自体の需要のほか、高齢者が集まる場としての需要が高いと考えられます。</p> <p>旧あったかホールの運営は、清掃工場跡地の再開発とは別枠かもしれませんが、連続する敷地ですので、風呂の継続や、緑道の整備など既存の需要への対応を充実させることが、あらたな施設の利用拡大にも有効と考えます。</p> <p>そのほか、リモートオフィスや、バンドや部活動に使えるようなスタジオ、動画配信用の設備を備えたスタジオを整備して、市や施設からの定期的な発信とあわせて、設備の貸出しを行う事で、さまざまな民間の活動の情報発信を後押しする事も出来ると思います。</p>	<p>本構想の「目指すビジョンと空間構成の考え方」では、「新しいものにはない良さを持つ既存施設・みどりなどの資源は活用され、地域への理解が深まるとともに、事業の多様性や経済の活力が高まっている」や「用途が混在し、多様な過ごし方ができる場を提供している」と示しております。</p> <p>また、浅川に面し、水辺のみどりに恵まれた環境は、本地区の活かしたい強みであると認識しております。</p> <p>地域特性を踏まえた活用方法については、令和5年度に市民ワークショップを開催し、幅広くご意見を聞くとともに、民間事業者へのサウンディング調査を実施することで、官民が調和する導入機能と事業スキームなどの条件を検討してまいります。</p>
4-14	<p>処理場跡地には特定の分野に偏らせない多角的な産業、例えば農水産/商工/アート等の各方面から価値の創成と発信を行う複合拠点の整備をご提案したいと考えます。農水産は「アクアポニクス」による水耕栽培と水産養殖を導入しつつ地域の食文化を発信する施設を地上に、商工は企業と学生/創業者/クリエイターを集め試作開発が行えるシェア工房を地上から地下域に(コワーキングスペースは活性化につながらない為設置注意)、アート分野では最新のVRやデジタル技術を導入した芸能、アート向けのスタジオ又はホール(災害時の避難設備兼用)をグラウンドレベルを基準に各々を立体的に配置しスペースを最大限活かした複合拠点とする事が出来ると考えます。スケパーパークは立川モノレール沿いに巨大施設が完成したので検討不要。</p>	<p>ご提案の点については、「目指すビジョン」に示すように、本地区では多様な用途を許容し、市民の皆さまの主体的な取組・活動をサポートするという考え方に整合すると認識しております。</p> <p>いただいたご意見は、今後の検討の参考にさせていただきます。</p>
4-15	<p>環境学習センターについて、北野からなくなると、環境学習拠点がなくなる。誰もが来やすい施設してほしい。ゼロカーボンシティ宣言も出していることから、発信の拠点とするのはどうか。</p>	<p>本構想の「目指すビジョンと空間構成の考え方」では、「環境再生エネルギーの導入や環境再生により環境学習や脱炭素社会をリードしている」と示しております。</p> <p>環境基本計画など市の計画において、本地区は環境学習の拠点と位置付けており、都市のインフラを支えてきた経緯や浅川に面する立地を活かした環境学習への展開が期待されているものと認識しておりますので、ゼロカーボンシティの先進事例となるよう努めてまいります。</p>
4-16	<p>あったかホールについては、維持ではなく、再開発により拡大してほしい。環境に対する学習の仕方として、これまでは廃棄されるものがどう活かされているのかであったが、これからは5・10年後の世代にどのように学習してもらおうのかという視点が必要である。水資源が豊富であるとともに、学生街である。学校では再生可能エネルギーの研究がなされている。それらを集約して、活用できる施設があると良い。</p>	<p>本構想の「目指すビジョンと空間構成の考え方」では、「環境再生エネルギーの導入や環境再生により環境学習や脱炭素社会をリードしている」と示しております。</p> <p>あったかホールの施設としては、当面維持することとしておりますが、環境学習の機能としては更なる発展を検討しております。また、再生可能エネルギーは、本地区に導入する機能に応じた最適な組合せや環境学習などの面を考慮して導入されるよう誘導してまいります。</p>

番号	いただいたご意見	市の考え方
4-17	<p>あったかホールの建物は特徴的で親しみを持たれていますが、幹線道路や線路からは目に入らず、施設の存在に気が付きにくい可能性があります。</p> <p>清掃工場の煙突は周辺からもよく見えますので、認知度の向上のため、これを活用すべきと考えます。</p> <p>デジタルサイネージとすることで、災害時の情報発信などにも活用できると考えます。</p> <p>子供から高齢者まで、健康に時間を過ごす場所を提供し、継続的な情報発信ができれば、魅力的な施設として長く利用されると思います。</p>	<p>本構想の「目指すビジョンと空間構成の考え方」では、「新しいものにはない良さを持つ既存施設・みどりなどの資源は活用され、地域への理解が深まるとともに、事業の多様性や経済の活力が高まっている」や「用途が混在し、多様な過ごし方ができる場を提供している」と示しております。</p> <p>本地区は、浅川及び国道16号バイパスからの視認性が高いことから、ランドスケープにも配慮し、水辺や散歩を楽しむ方々にも親しまれる公共空間を創出したいと考えております。</p>

5.その他のご意見等

番号	いただいたご意見	市の考え方
5-1	<p>ワークショップは市民が平等に参加でき、非常に良い方法である。保健所跡地のワークショップに4回参加したが、有意義だった。実施してほしい。</p>	<p>市の取組を評価していただきありがとうございます。公共空間のイメージについては、令和5年度に市民ワークショップを開催するなどして、幅広く市民の皆さまのご意見を聞きながら検討してまいります。</p>
5-2	<p>北野地区の民間活用に伴い、周辺地区の資産価値が上がる。固定資産税が上がらないように対策してほしい。</p>	<p>地域のポテンシャルを最大限に活かし、魅力を高める都市づくりを進めることは、地域住民のみならず、広く市民の皆さまの生活の質の向上、ひいては公共の利益に繋がることと認識しております。</p>
5-3	<p>経済、社会構造の変化が加速化し、不確実性が増大する中で、本案件は主要機能の停止、再開発という過去にない計画であり、既存施設の撤去が2028年まで長期化が予想されることに加えて、南バイパスの全線開通の見通しが不透明であり、短中期の実効的施策とともに長期的視点からの柔軟な対応が必要と考えます。このため「2050年カーボンニュートラル」が実現して、「八王子未来デザイン2040」も順調に進展した社会からのバックキャストリングとして考えてみました。キーワードはカーボンニュートラルに加えDX、地域自治、共創、未来の主役づくりになります。</p> <p>まず地域自治に関係する現在への反省です。</p> <p>コンサルのワンパターンのプランづくりに頼らないこと。コンサル全盛はすでに過去のものと思います。</p> <p>実行段階では「中抜きシステム」から脱却して、資金が地元に残り循環すること。</p> <p>長期ビジョンのパブリックコメントでも多く指摘されたように、外部に安易に頼らない行政を含む市民力の向上が基本と考えます。</p> <p>本地区は敷地内に多数の部署が同居し、多くの市民の参加、利用があったにもかかわらず、ボランティア活動を積極的に推進する体制が不足していたように思います。</p> <p>短中期的な取り組みとしては、以下につき検討していただきたいと思います。</p> <p>施設の利活用の可能性については、co2排出を制御する「リノベーション」の視点が有効ではないかと考えます。地域の知識を活かす意味で、元首都大学教授青木茂氏が著名です。(元いちょう塾講師)本格的な新産業立地までの間に投資回収が可能な再生可能エネルギー創生拠点の整備。</p> <p>敷地内緑化の集中的な先行整備。</p> <p>未来の主役「こども」チームづくり。さまざまアイデアから「こども」が選び、実行するスタイルを確立する。(年齢 毎年9～14歳 各10名 計60名、期間 2026～2050年 計1500名)(9～39歳)</p> <p>多様な大人がサポートする。</p> <p>DXの進展で格差や多様性などの課題が解消に向かう中で、市民のフィジカルな時間、空間の余裕を活かす。地域での資金循環の観点から有償ボランティアと任期付職員制度も検討する。</p> <p>積極的なPR。</p> <p>キャッチフレーズ【案】</p> <p>キラリ:プロジェクト</p> <p>KITANO</p> <p>RALLY(集まる、結集する)</p> <p>RENOVATION</p> <p>みんなが集まる みんなでつくる</p> <p>北野しあわせガーデン</p>	<p>キャッチフレーズのご提案ありがとうございます。「みんなが集まる みんなでつくる」というキーワードは、本構想の「目指すビジョンと空間構成の考え方」で示す「用途が混在し、多様な過ごし方ができる場を提供している」と整合するものと認識しております。</p> <p>市民の皆さまが主体的な取組・活動を実践できる場を提供するなど、自分事としてまちづくりに関わって、よく使われる・親しまれる公共空間を実現するよう努めてまいります。</p>

番号	いただいたご意見	市の考え方
5-4	<p>可能性を探るため、浅川土手周辺やポンプ場周辺における「社会実験」の実施を提案いたします。</p> <p>浅川土手周辺では、あったかホール周辺と浅川土手の自然豊かな環境を生かして、サイクリストはもちろん、地元住民が楽しめるようなサイクリングイベントの開催を提案いたします。また、土手を整備して、期間内は自由にキャンプやBBQができるようにしたり、企業と連携してキャンプイベントを行ったりすることにより、自社製品のプロモーションや地域貢献の場とすることを提案いたします。</p> <p>ポンプ場周辺では、貯水槽の上部通路と下部広場を有効活用した立体感のある野外イベント（音楽フェス(コンサート)、テーマ別のあそび場、(クリスマス)マーケット等）の開催を提案いたします。</p>	<p>事業化に先立ち、社会実験を実施することは、跡地活用の実現性検証やまちづくりに関わるステークホルダーを構築するうえで有効な手段の一つであると認識しており、積極的に検討してまいります。</p>
5-5	<p>市街中心部近傍の地域で、これだけのスペースの公有地の再利用は今後も行われる可能性は少ないと思います。その点を考慮して、今後の跡地活用の方法やスペースデザイン等、広く市民の意見を取り入れた形で構想をつくってほしいと思います。</p>	<p>公共空間のイメージについて、令和5年度に市民ワークショップを開催するなどして、幅広く市民の皆さまのご意見を聞きながら検討してまいります。</p>
5-6	<p>北野下水処理場付近は、浅川のサイクリングロードに面しており、その開放的な川沿いは市民に愛されています。しかしながら、現状は足を止めたり、目標となるスポットがあるとは言えないと思います。跡地の整備により、市民の憩いの場、又、サイクリングでの観光など、素晴らしいスポットになりうると考えます。</p> <p>コロナ禍を経験し、得た感覚は、人間に必要なのは自然と触れ合うことの大切さであり、建物や構造物の立派さに勝るのではないのでしょうか。</p> <p>緑の憩いのスペースはすべての市民の体と精神にとって有効なものではないかと思えます。さらに、防災や、環境教育、健康増進の拠点という役割も担ってほしいと思います。</p> <p>又、市の施設は、公共の財産なので、運営は民間のみに任せてしまうと、収益化が優先され、主目的になってしまうので、市民の利益が減ってしまうことを危惧します。</p> <p>運営の仕方はぜひ市民参加型となるように希望します。</p> <p>市民参加型であることで、コミュニティが生まれることが全世代、また、八王子にとって、よいと思えます。</p> <p>さいたま市大宮区第二公園内「香りロード」は市民ボランティアが公園管理に加わっているそうです。こちらを参考にいたしました。よろしくお願いたします。</p>	<p>「浅川沿いで散歩やサイクリングなどを楽しむ方々にとって憩いのスペースとなる空間の提供」、「自然に触れ合うことの大切さ」については、本構想の「目指すビジョンと空間構成の考え方」で示す「用途が混在し、多様な過ごし方ができる場を提供している」と整合するものと認識しております。</p> <p>ご懸念の運営体制につきましては、持続的に質の高い公共サービスを提供する手段として検討しております。民間の収益性と公益性のバランス、市民参加の手法については、サウンディング調査等を通して検討し、民間事業者との連携の際に公共貢献に関する条件を示す考えです。</p>